

子育てサービスを利用するママたちに聞きました！ 誰かに頼ることで生まれる“余裕”



▶ こんな時に助けてほしい…

気分転換が
したい！



▲ ひかりちゃんとママ

月に1～3回**公共サービス**などを利用し、家族以外に娘を預けています。きっかけは、私の定期健診で病院に行くときに、少しだけ預かってほしいと思ったこと。その後も、友人と食事に行くときなど、自分の時間を作りたいときをお願いしています。

仕事に集中する
時間がほしい！



▲ すずかちゃんとママ

自分が仕事をしている間、**有償ボランティアサービス**を利用して、娘たちを見てもらっています。

産前産後に
支援を受けたい！



▲ すばるくとママ

下の子の出産で慌ただしいときに、**有償ボランティアサービス**を利用して、小学生のお兄ちゃんの登下校の送迎をお願いしました。豊橋まで送迎してもらいとても助かりました。

頼って良かった！
ママの声



- 子どもとずっと一緒にいることがストレスになるときも、少し離れることでリフレッシュになり、気持ちに余裕ができました！
- 短い時間ですが、自分の時間を持つことで、自分自身を取り戻すことができます。



頼って良かった！
家族の声



- 仕事などでどうしても育児参加できないところをサポートしてもらいました。妻だけでなく、家族全員助かりました。

子育てを応援する地域の仕組み

現代の祖父母世代の方々には、50～60代が多く、まだ現役で働いていたり、親の介護や自分の健康問題があるなどの理由で、孫支援に関わる時間を持っていない方が増えています。このような状況から、自身の親からの支援が受けられない子育て世代が増加しています。さらに、30～40歳代のパートナーや夫は、仕事で責任ある立場になっている場合が多く、思い描くような男性の育児ができない状況があります。

誰かに頼れる“ちょっとした家事のお手伝い”が、ママたちの心に余裕を生みます。

次のページからは、主に家事の支援などで、子育て世代を応援する団体などを紹介します。